

キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

深谷の『煮ぼうとう』が『100年フード』に認定



武州煮ぼうとう研究会

こばやしなかじ ねぎししょうじ
小林仲治さん 根岸祥次さん
なかしまみつお
中島三男さん

後世へつなぐ
深谷伝統の味

『武州煮ぼうとう研究会』は、渋沢栄一翁も愛した郷土料理『煮ぼうとう』の市内外への普及のために、日々活動しています。

『昔、自分たちが子どもの頃によく食べていた煮ぼうとうを、再び食べてもらいたい。』という思いのもと活動を始めて、今年で20年を迎えました。初代会長の小林さんは「自分たちが自主的に活動を楽しんでいるからこそ今まで続けているのだと思いますよ。」と話します。

そんな節目の年に、『煮ぼうとう』が『100年フード』に認定されました。『100年フード』とは、文化庁が、地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化を認定する取り組みです。

認定を受けて、現会長の中島さんは「煮ぼうとうは、深谷の地域に

愛されていたからこそ、伝承されてきたと感ずますね。」と、江戸時代から続く煮ぼうとうの歴史を振り返ります。そして、2代目会長の根岸さんは、「煮ぼうとうは次世代に続く郷土料理であり、つないでいくのは我々の務め。さらに長く伝えていきたいですね。」とこれからの活動に対する気持ちを語ってくれました。

「煮ぼうとうはB級グルメのイベントによく出ますが、我々の煮ぼうとうは永久グルメなんです。」と自信に満ちあふれた一言を語る小林さんと、それにうなづく根岸さんと中島さん。そんな歴代会長の3人の表情は、煮ぼうとうに対する情熱と、これからの世代に伝統の味をつないでいくという決意に満ちていました。



▲(左から時計回りに)100年フード認定証、イベント会場での煮ぼうとう販売の様子、できたての煮ぼうとう

男女共同参画 情報コーナー

ともに認め合い 支え合う 元気と笑顔で参画するまち ふかや
 図人権政策課 ☎574 - 6643

ワーク・ライフ・バランスについて考えてみませんか？



みなさんは、『ワーク・ライフ・バランス』という言葉を知っていますか。『ワーク・ライフ・バランス』とは、『仕事と生活の調和』ということですが、現在の働き方を見直し、生産性を向上させることで、健康で豊かな生活のための時間を確保し、私生活が充実することで業務効率も上がるといった相乗効果・好循環を生むことを趣旨としています。

現在では、共働きの世帯も一般的となっていますが、その一方で、『男は仕事、女は家庭』といった性別による役割分担が一般的だったころの意識や、それを前提としたものが多く残っていることから、仕事と生活が両立しにくい状況にあります。

このような状況を解消するためには、社会全体として取り組んでいく必要があります。

もちろん、事業主と働く人が協調して生産性の向上に努めるとともに、職場の意識や風土を変えていく取り組みも必要ですが、それだけでなく、皆さんが社会の一員として、家庭や地域の中で積極的に役割を果たしたり、一消費者として、求めようとするサービスを提供する人の働き方に配慮したりすることも大切ではないでしょうか。

心の広場

深谷小学校4年(現5年)
佐藤 司さん



目の見えない人にできること

「なに？まっくらで見えない。」
 と言いました。これは目の見えない人の気持ちを考えるじゅ業です。ぼくは、目が見えないと心配なことがたくさんあるな、と思いました。アイマスク体験をしながら、ぼくにできることが思いうかんできました。

1、目の不自由な人を見かけたら、困っていることがないか聞いてみることです。目が見えないと、方向も手にさわっている物もわかりません。困っていると言えない人もいると思うので、自分から聞いてみたいと思います。

2、声をかけて心配をやわらげてあげます。アイマスク体験をして一番こわかったのは、階段がわからなくて転びそうになった事です。友だちが、「あと少しだよ。」

と声をかけてくれて安心しました。ぼくは、よかったな、転ばなくてと思いました。

体験が終わった後、園長さんのお話を聞きました。

「目が不自由だから、入れる大学がありませんでした。でもあきらめずに、勉強と大学探しをつづけたら、入れる学校がありました。」
 とおっしゃっていました。その話を聞いて、「どんなに苦ろうしたって、がんばれば、ぜったいむくれるんだな。」
 と思いました。

この体験やお話を通じて目の見えない人の不安な気持ちを知ることができました。また、あきらめないことの大切さを学びました。駅や町なかで目の不自由な人を見かけたら、声をかけて、ぼくにできることを聞く勇気を持つと思いました。



ふっかちゃんの日常から
深谷が見えてくる

ふっか散歩

120 アクアパラダイスパティオ



夏と言えばやっぱりプール！今回はアクアパラダイスパティオにきたよ。パティオは、北関東最大級の屋内アミューズメントプールで、たくさんの魅力があるんだよ。さっそく入ってみよう！



◀おっきなウォーターライダーがあつたよお。コースは50mと100mがあるんだって！どっちのコースで滑ろうかなあ。



◀プールで遊び疲れたら、ジャグジーとサウナでひと休み。リフレッシュしたらまたプールで遊べるね！



▲入ってすぐに目に入るのが「波のプール」。波が立って本物の海みたい！他にも流れるプールやこども用プール、25mプールもあって、いろんな人が楽しめるようになってるよ。

ふっかちゃんのつぶやき

海がない埼玉県だけど、深谷市にはパティオがあって、いつでも海を感じられるから、みんなパティオヘゴ！
 ~Y(0≧ω≦0)Y

